



PRESS RELEASE



報道関係者各位

2013年4月26日
京都センチュリーホテル

2012年8月リニューアルオープンした「ロビー」「レストラン」が 国際インテリアデザインコンペティション(ホテル部門)にて 【ゴールドアワード(金賞)】を受賞

株式会社京都センチュリーホテル(本社:京都市下京区、社長:稲地利彦)は、この度香港にて開催されました「国際インテリアデザインコンペティション2013」のホテル部門において、2階「ロビー」「レストラン」の2012年8月リニューアルデザインが【ゴールドアワード(金賞)】を受賞いたしました。昨秋の京都デザイン賞入選に引き続いての受賞となります。



<The Ring iC@ward International Design >

1990年から開催。国際規模となり、芸術、デザイン(特に建築デザイン)とインテリアデザイン、それらに関連する芸術鑑賞力を高めることを目的としたコンペティション。

日本の伝統を革新的に展開したところが多く、審査員に高い評価を受け、この度の受賞となりました。



「オールデイダイニング ラジョウ」&ロビー



「メインダイニング カサネ」

<オールデイダイニングのコンセプトは「X・cross」>

ここは様々なひとが集い、食し、時間を共有する街の広場。日本の古都、さらには国際都市としての京都において、「人・食材・文化・芸術、そして時間」の「交差(crossing)」による化学反応を誘発すべく、ライブ感を大切にしながら、古き良きホテルとしての潜在能力を高め、未来に繋いでいくデザイン。

<メインダイニングのテーマは、ノスタルジックモダン>

京都の伝統工芸や新鋭技術とのコラボレーションを随所ではかり、ホテルのみならず京都の産業や文化・芸術が世界へと伝播されることを期待したリノベーション。

<象徴的なモチーフ>

●**かんじんの京灯り(オールデイダイニング ラジョウ)** (作)齊藤上太郎氏
世界最大級の高さ4m80cmのフロアスタンド。かんじん(最も大事なものを)を忘れず、奢らず、伝統という新しさを伝え続ける灯り。京都センチュリーホテルのシンボルでもある。

●**新世紀京都華絵地図(オールデイダイニング ラジョウ)** (作)齊藤上太郎氏
サイズ W2625×H7000、西陣織でつくられたタペストリー。タテに流れるY字の鴨川、京都センチュリーホテル「かんじんの京灯り」で表現。上賀茂と下賀茂に葵モチーフ、御所の位置には菊紋、祇園には府花であるしだれ桜などで表現。

●**刻飯「一重白彼岸枝垂桜」(メインダイニング カサネ)** (作)刻飯加工:川並鉄工株式会社
京都の風物詩の代表である八坂のしだれ桜をモチーフとしたアート。

「刻飯」という技術により黒色に電解着色された1mmのアルミ板を1/1000mm単位の差で削り分け、その深度の差、反射の違いによりアルミ板に画像を浮かだたせる。花びらの重なり、桜と東山との重なる風景を陰影により表現した、デザイナーとデジタルクリエイターと鉄工屋のコラボレーションアート。



【デザイン会社】株式会社 日建スペースデザイン

【デザイナー】藤井 崇司

2012年秋の「京都デザイン賞」入選に続く受賞。

リノベーションにあたっては、京都の玄関口に建つホテルの責務として、「京都の伝統的な美術や工芸、新鋭技術を現代的な形で世界に発信し未来に繋ぐ」ことを意識いたしました。

<このリリースに関するお問合せ/ご掲載用お問合せ>

京都センチュリーホテル 広報担当/松井・遠藤

TEL : 075-351-0186(直通) FAX : 075-351-2241 Email : matsui-m@kyoto-centuryhotel.co.jp